



## Popoki's Hot News!



### Coming soon!

報告会：「ポーポキ in 大槌&大船渡 2019」  
2019年4月20日 神戸学生青年センター  
詳しくは 6 ページをご参照ください。



### 「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのりなにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。「私は自然が好きです。最近地球温暖化の影響で南極大陸の氷河が溶け始めて水面が上昇していますし、森林も減っていますし機械化が進んでいるので自然を守ると私は平和な気持ちになります。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？

ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki@gmail.com) !



### ポーポキからのメッセージ

そろそろ、ポーポキは友たちに、「おめでとう！」や「お元気で！」と言って、友達たちとお別れを告げる日がやってきます。ポーポキは、新しい友だちと出会うこともしたい。ポーポキに会いたいと思ったら、ぜひ声をかけてください。

## 「絵と絵本と医療と災害の持ち寄りパーティ Part2」レポート

もりにゃん

おそらく2019年最初の活動となる「絵と絵本と医療と災害の持ち寄りパーティ Part2」が、先月開催されました。ゲストお二人(岩手県大槌町在住・特定非営利活動法人つどい事務局長の元持幸子さん、福島市在住・写真家の赤城修司さん)のお話と、ポーポキの紙芝居にお絵描きタイム!と盛りだくさんの内容。満員の会場で、たくさんの参加者とあつという間の2時間半でした。

赤城さんのお話では、福島で原発事故直後にお店で売られていたものの一つが、『不安のしずめ方』という本だったそう。これには、衝撃を受けました。危険か安全か、という基準ではなく不安になるかならないか、というのが判断基準になっているのでは、というご指摘。いやはや、でも確かに。社会も人も、不安になるから＝パニックなるから、と重要な情報が後回しにされていました。

元持さんのお話では、発災直後に何を持っていたと思いますか?の問いに、それは、チョコレートだったと。友人が言葉と思いを込めてくれたチョコレートを、しばらくずっと封を開けないでカバンの中に入れていたそうです。お守りのように。

また、お二人に共通する話で、311以降服が暗めになった、というお話もありました。経験した前と後で、変わってしまう自分の生活とは、具体的にどんなものか、垣間見た気がしました。

ゲストの話のあと、それぞれのグループで幾つかのテーマの中から一つ選んで、意見交換とそれをお絵描きで表現しました。私たちのグループでは、「安心な場所は?安心できるものは何か?」というようなテーマを選んで、意見を交換しました。

子どもたちは、お家を描いたりしていました。そして、大切な「こうめちゃん」(飼っているうさぎさん)などなど。そして、私は知らないけど、大好きなゲーム(アニメ?)のキャラクターを描いていました。それは外せませんね!そのキャラクターは、空を飛ぶそうです。確かに、空を飛べたら災害時には安心できそうだなあ。

私は、哺乳瓶とミルク。これは絶対!この子(7ヶ月)をなだめるにはこれしかないのです。そして、何より、息子。ということで息子を描きました。その周りに、彼を気にかけてくれるたくさんの人たちも描きました。

子育てするようになって感じることは、いろんな方が声をかけてくれることで、自分も安心できている、ということです。妊娠中は、妊婦は誰もが経験するから、と思われているのか案外ほったらかしでした。しかし、子どもが生まれて、私とは別の人格となると、周りは私にも大変だよねと、気遣いの言葉をかけてくれるようになりました。災害時(普段でもですが)、きっと自分もパニックになり、さらに子どもを抱えていたら、と思うとそんな時に周囲の人たちが気にかけてくれる、ということは随分と励みになるだろうなと想像しました。

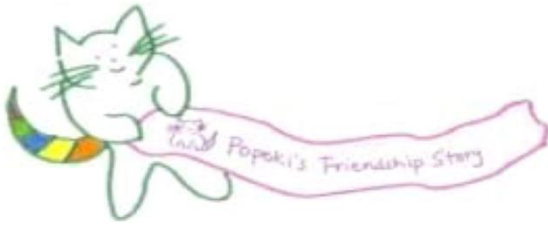
ゲストのお話やワークから気づいたことの一つは、色の力です。お絵描きワークのシェアタイムでは、言葉にすると暗闇でも、落ち着く暗闇、温かい暗闇などグラデーションがあることを色では表現でき、多様な暗闇があることに気づかされました。

日常生活の中に、当たり前にあると思っている色とりどりの世界は、ある日を境に街からも色を奪ったり、心の中から色を奪ったりすることもある。そんな中で、色を取り戻していく作業は、とても大事なことのように感じました。

今日のワークを通じて、避難袋に+一品、としたら、気に入った色のストールなんかいいのかもしれない、と考えるようになりました。



シェアタイムの様子



## \*Popoki's Interview\*

話し手: Vivianさん

聞き手: らにゃん

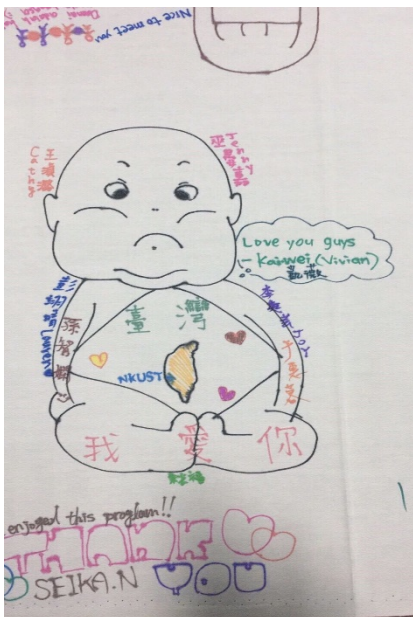
1. あなた自身とあなたの仕事について教えてください。

→ 高雄国立科学技術大学の学生、ヴィヴィアンです。出身は台湾です。

2. ユネスコサマープログラムの前に災害に興味を持っていましたか。

→ サマープログラムの前に災害についてあまり勉強したことはありませんでした。ニュースで取り上げている災害の情報をときどき聞く程度で、あまり興味がありませんでした。でもある事件が私の心に深い傷を残しました。高雄でガス爆発が起きました。私にとってその事件は一番印象に残った災害だと思います。私は被害を受けていないので幸運ですが、それでも私の心は傷つきました。

(ポーポキがインドネシアに持って  
きた布にヴィヴィアンが描いた絵)



3. いつ頃、そしてどこで初めてポーポキと出会いましたか。ポーポキとの出会いとかポーポキの活動から何かを学びましたか。

→ 私が初めてポーポキと出会ったのはユネスコサマープログラムの時です。「愛があれば、あなたと私や、男と女などの違いはなく、みんなが同じだ」ということを教えてくれました。

4. あなたは災害強について勉強しました。「災害」といえば、すぐにどんなイメージを思いつきますか？

→ 毎回多くの災害が発生していますが、私たちはそれらについて知る機会がありません。例えば、台湾に戻った後、インドネシアで津波が発生したと聞きました。自分が持っているものを大切にする必要があったと感じました。そして、周りの方にもその気持ちを伝えたいと思います。

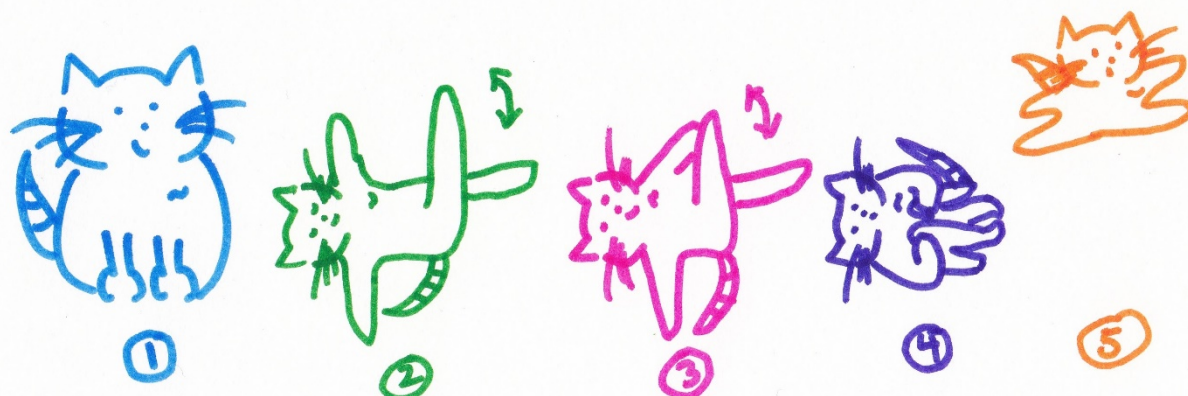
ユネスコサマープログラムのみなさんとポーポキにまた会いたいと思っていますが、それまでは私たちが自分自身を向上させるために努力し続けるべきです。



# ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

## Lesson 129

今月のテーマは、おふとんでストレッチ！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
  2. ではあおむけになり、手を横へ広げましょう。右足を上げて、左のほうへ伸ばします。膝を曲げたら楽になりますか？左足でもトライしてくださいね。
  3. 次は、右足を左へ伸ばしながら、左手を伸ばして、足の指をつかみましょう！反対側もね！
  4. 最後は、膝を抱えて腰やお尻をストレッチ！
  5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

## 一緒にいかが？



次回のポー会：3月19日 19:00～ 灘薬剤師会(JR六甲道すぐ)

- 4.12 アート・災害・安心研究会ワークショップ グリーンベリーズカフェ 19:00～
- 4.20 報告会：ポーポキ in 大槌町と大船渡2019！ 神戸学生青年センター 18:00～
- 6.30 灘チャレンジ！

ポーポキの友だちから

新しい絵本：中條聖子著、ロニー・アレキサンダー訳『森のかんづめ』（日英版）エピック  
2017年

ポーポキ・ピース・プロジェクト



Popoki Peace Project

## 大槌町・大船渡市 活動報告会 2019

Report meeting on Otsuchi and Ofunato activities 2019

ポーポキ・ピース・プロジェクトは、2005年より身体と感性と想像力を使って平和を創造する活動をしている団体です。2011年からは、岩手県大槌町を訪れて「友情物語」という活動を行っています。

このたびは2019年2月8日から2月11日まで、岩手県大槌町で展示活動など、大船渡市でワークショップをしました。最近の大槌町の様子、初めての大船渡活動、最近のポーポキの動向など、みんなと共有し話し合えればと思います。

ポーポキのお友だちも、ポーポキをまだ知らない方もみんな、歓迎します！

Popoki Peace Project is an organization emphasizing use of the body, senses, and imagination in creating peace through workshops and other activities from 2005. Since 2011, we have visited Otsuchi-cho, Iwate Prefecture and done activities of Popoki Friendship Story.

This year we had an exhibit and other activities in Otsuchi, and a workshop in Ofunato City from 8 – 11 February. We would like to share and discuss what is happening in Otsuchi, our first experience in Ofunato, and Popoki's current activities.

Popoki's friends, those who have not yet met him or don't know him well, everyone is welcome!

日時/Date : 2019年4月20日(土) 18:15~20:00 (18:00会場・open)

場所/Venue : 神戸学生青年センター Kobe Student Youth Center

神戸市灘区山田町 3-1-1 Nada-ku Yamada-cho 3-1-1 Tel.078-851-2760

参加費/Fee : 無料 Free

言語/Language : 日本語/英語 Japanese/English

主催/ : ポーポキ・ピース・プロジェクト Popoki Peace Project

お問い合わせ・お申込み/ Information and Reservations  
[ronniandpopoki@gmail.com](mailto:ronniandpopoki@gmail.com)

会場地図 MAP



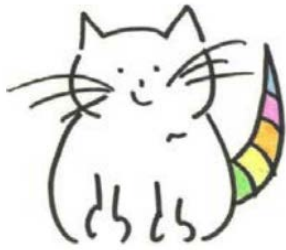
# Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー :

<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのみど 52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのみど⑮(パレスチナについて) 『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] [http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602\\_ja](http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja)
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇宙賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: [blrhyg@osk3.3web.ne.jp](mailto:blrhyg@osk3.3web.ne.jp)
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8 10





## 私にとってポーポキ

さとにゃん



とによ

今の私には余裕がない。

何時からこんな状態になっているのかは分からない。

このような状態は、どんどん加速しているように思う。

何時から加速しているのか…思い出せない。

そんなときに、ポーポキの活動がある。

時間的なゆとりから冷静に判断するならば、参加するこ  
る時間の圧迫は、かなり厳しい。

参加するだけではなく、その準備や段取りなど(ほとんどはろにゃんがしてくれるのだが)  
況んやである。

しかし、心の活動レベルは確実に上がる。

疲れ切っているときには地を這うようなレベルなのに、ポーポキをやっている時には、天  
井まで跳ね上がる。

しかも、終わったときの満足感と爽  
快感は他では得られない。

疑っておられる方、是非一緒にやっ  
てみませんか？

忙しいからこそやってみませんか？

きっと あなたもはまります。





ご協力お願いいたします！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10か国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なされたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、[popokipeace@gmail.com](mailto:popokipeace@gmail.com) へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!